

近畿中国局フォレスターNEWS

県と地域林政連絡会議を開催（鳥取県）



猪呼谷国有林



鳥取森林管理署会議室

鳥取森林管理署と鳥取県は、民国が連携して取り組むべき地域の課題を把握し、その課題の解決に向けて取り組むために、7月13日、猪呼谷国有林と鳥取森林管理署会議室で、地域林政連絡会議を開催しました。

当日は、国有林から近畿中国森林管理局森林整備部長、鳥取森林管理署長他5名、鳥取県から森林・林業振興局長他7名の計15名の参加がありました。

まず、一貫作業システムを実施している猪呼谷国有林で、コンテナ苗2000本植えの植栽状況の様子を視察し、鳥取署から、一貫作業システムとコンテナ苗による低コストでの生産・造林、普通苗と比較したコンテナ苗の季節に関わらぬ良い活着率等について説明しました。

視察後、鳥取署会議室に移動して、鳥取県の取組、森林管理局の重点取組、鳥取署の事業概要の説明の後に、意見交換を行いました。その結果、民国連携の課題については、署と県のフォレスター等が協力して取り組むこととしました。また、早生樹については、県の平成29年度試験研究課題として、育苗及び植栽実証試験に取り組むとの情報提供がありました。

鳥取署は、今後も県と定期的に情報交換の場を設けて、情報共有や意見交換を行い、県と連携して地域の課題の解決に向けた取組を進めていきます。

※一貫作業システムとは、林業用機械を活用しながら、伐採から造林までの作業を連続的かつ一体的に実施する方法。

市への技術的援助に向けた取組（石川県）

7月27日、石川森林管理署は、石川県、白山市と白山市役所鶴来支所において、「県と署が連携して行う市町村への技術的援助等」についての打合せを行いました。

この打合せにおいて、①平成28年度の重点取組地区を白山市とすること、②会議の名称を「白山市森林・林業振興推進会議」とすること、③今年度の重点取組事項は「白山市市町村森林整備計画」の策定支援とすること、④作業部会を設置すること等が合意されました。

また、8月29日に地元の森林組合、林業事業者、林研グループ、特用林産物生産者、木材組合等を招き、地域の森林・林業の問題点や白山市森林整備計画の策定に向けた要望等を聞き取ることにしました。

石川署は、今後も推進会議、同作業部会を開催して、石川県と連携した白山市への技術援助等の取組を進めていきます。

※重点取組地区とは、府県と署等の森林総合監理士（フォレスター）等が連携して、技術的援助やその他の必要な協力を重点的に行うために設定した市町村のことをいう。こうした市町村への技術的援助等をフォレスター活動という。



林野庁

近畿中国森林管理局

技術普及課



国民の森林・国有林

TEL: 06-6881-3524 FAX: 06-6881-2055

URL: <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

〒530-0042 大阪市北区天満橋1丁目8-75

編集後記

8月の暑い頃になると百日紅（サルズベリ）の花が、赤、桃、白色に咲いています。さて、今年の残暑は厳しいそうですので、暑さ対策、夏バテ対策をされて、体調管理に気を付けていただければと思います。

